


東京大学 大学院教育学研究科 教育心理学コース

アイコンの意味

: ホームページ

: 連絡先 (メールアドレス/連絡先の載っているURL)

教育心理学コース

- 広い意味での教育活動に関わる心理学を扱う
 - 教授学習, 言語や情動の発達, 創造性など, 人間の活動, また, それらを測定する方法
- 特徴
 - 日本の教育心理学の歴史の中で、中心的な役割を果たしてきた
 - 心理学や教育学関係の大学教員が多数輩出
 - 院生の中から学会の論文賞等の受賞者が多数輩出

4つの教育研究分野

2020年5月現在

発達心理学

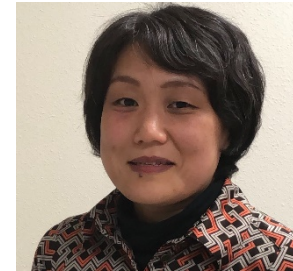


遠藤 利彦



針生 悦子

教授・学習心理学



清河 幸子

(2020年10月着任予定)

教育認知科学



岡田 猛



教育情報科学





岡田 謙介

発達心理学

■ 遠藤 利彦 研究室



- 生涯発達心理学・感情心理学・進化心理学
- 親子/家族の関係性・アタッチメントの規定因と発達の帰結・保育と発達・感情の進化的/文化的基盤・社会的感情の機能性/合理性・感情知性等
-   <https://sites.google.com/site/etoshilab/>

■ 針生 悦子 研究室

- 認知や言語、コミュニケーション能力の発達
- 乳幼児を対象とした研究
-  <http://www.p.u-tokyo.ac.jp/~haryulab/>
-  haryu@p.u-tokyo.ac.jp

教育認知科学

■ 岡田 猛 研究室

- 芸術創作過程・創造的コラボレーション・創造性支援
- フィールドワークや実験などのマルチメソッド
-   <http://www.p.u-tokyo.ac.jp/okadalab/>

教授・学習心理学

■ 清河 幸子 研究室

- 協同・洞察問題解決・アイデア生成・潜在学習

- 成人を対象とした実験研究

-   <https://www.kiyokawalab.com/>

教育情報科学

■ 岡田 謙介 研究室

- 心理統計学・ベイズ統計学・統計的因果推論
- 質問紙調査におけるバイアスの除去・反応時間データの活用・認知モデリング等



<https://www.p.u-tokyo.ac.jp/~ken>

コース全体の特色

- 院生自身の研究テーマを尊重・サポート
- 方法論・統計解析手法等を重視
- 専門を深めるとともに幅広く学ぶことを推奨
- 研究室の壁を超えた全体での指導機会
- 学会活動のサポート（参加費の補助）
- 活発な院生間交流と自主的な研究活動
- 協調的・親和的關係の中での学びと遊び

コースの年間スケジュール

修士課程

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

M1

関心のしぼりこみ ⇒ 関連研究のレビュー ⇒ 問題の設定

指導教員
決定

第一回
修士論文検討会

博士論文検討会

第二回
修士論文検討会

修士論文提出

修士論文発表会

M2

研究活動(データの収集・分析→次の研究計画)⇒ 論文執筆

就職?
進学?

- ・院生の自発的な研究会、読書会
- ・学会への参加回数 ~年間2-3回
- ・修士課程のうちから学会誌に論文を投稿する人も
- ・学術振興会特別研究員(DC1)への応募
- ・教育研究創発国際卓越大学院プログラムへの応募

←参加費用の援助(コース)

コースの年間スケジュール

博士課程

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

D1

- ・修論の研究を学会で発表する
- ・修論の研究を学会誌に投稿する(投稿してから半年~1年...)

(修論を発展させた)研究の計画 → 実施 → 分析 → 論文化

D2

博
論
検
討
会

D3

- 博士学位請求論文の提出から 学位取得までは半年程度
- 博士論文を提出するためには、査読のある学術誌に論文が最低2-3本
- 博士課程学生の研究と生活の補助 ...日本**学術振興会**特別研究員(DC1, DC2)
- 業績(論文, 学会発表)によっては、奨学金の返還免除あり
- 博士論文作成にむけたサポート(研究科) ...指導委員会

◆修了後の進路: 学振研究員(PD)、ポスドク研究員、大学教員、民間研究所等